

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 楽農倶楽部

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

多摩の団地住民による野菜・苗づくり事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

高齢者や障害を持つ人及び児童生徒を含む、多摩市民の活動の場作りとして、環境改善・食料自給・自然教育に関する社会活動を行います。その背景、対象ニーズ、動機、目的は、平成18年に休耕地を借りて、団地の仲間を中心に野菜作りを始めました。高齢農業従事者や大学の専門家の指導により団地で苗を育てることが可能となり、野菜の団地バザーを開設しました。野菜作りは、炭酸ガスの削減効果があり、高齢者や障害者や子供達も参加でき、学校や各種団体とも連携できました。苗づくりの団体や個人に育苗費を支払う社会参加の場づくりをスタートし野菜づくりをととして地域コミュニティづくりを目指します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1 季節野菜づくりのために、委託育苗約20,000本を実施しました。
 - ・委託育苗には、団地高齢者及び多摩市教育委員会と連携して小中学校の生徒に育苗委託しました。
- 2 苗作り技術の向上施策を行いました。
 - ・高齢農家、恵泉大学、多摩市グリーンライブセンターの専門家指導を受けました。
- 3 野菜、苗の販路を拡大しました。
 - ・野菜市場を4箇所設置しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

「野菜づくりから地域コミュニティづくり」へ

- 1 多摩市教育委員会や小中学校及び青少年問題協議会や大学等専門家との連携が教育・野菜栽培・肥培管理・育苗の技術の向上と地域のコミュニティの拡大におおいに役立ちました。
- 2 多摩市ゴミ対策課と連携し、生ゴミによる土作りにより、微生物の活用・増進をはかり、農業減量・化成肥料の削減と自然農法に努め、生ゴミ燃焼処理を各家庭から減量するように努めています。
- 3 団地市場をととして「美味しい野菜を有難う」、と隣接団地住民との交流が拡大しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

多摩ニュータウンに暮らす人々のリタイア後の第二の人生テーマには、やりがい・楽しむ・支え合い(自助・共助)などの場づくりを野菜づくりと位置づけました。

その成果が、当年の活動の広がりとなって、楽農倶楽部の活動の場は広がり、多摩市および大学、小中学校、青少年問題協議会や各地域団体との連携をすることに繋がりました。通年活動では、四季の野菜作り、育苗、市場の拡大、生ゴミ・落ち葉の資源化などが試行部分を含め本年の目標を達成できたものと思います。

最後になりましたが、真如苑の公募助成のお陰をもちまして、当倶楽部がこの1年活動することができました。関係者の皆様に紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・**特になし**